

きゅうみいけたんこうみやうらこうえんとつ 旧三池炭鉱宮浦坑煙突



- ・規模 高さH=31.2m、直径D=4.3~2.9m
- ・建築年代 明治21年（1888年）3月に建造。
- ・外観の特徴 レンガ造りの煙突で、耐火赤レンガが約138,000枚使用されている。30mを超える高さであるため、地域のランドマークとなっている。現在は宮浦石炭記念公園として整備され、平成7年度に補修、補強工事済み。
- ・指定の理由 煙突は、竖坑捲揚機の動力源であったボイラーの排煙に使われていたものである。かつて宮浦坑には赤レンガの煙突は3本あったとされるが、現在はそのうちの1本だけが修復保存されている。石炭採掘と大牟田発展の歴史を物語る重要なメモリアル的な建造物であり、日本の近代史・産業史を知るうえで極めて貴重な施設である。
- ・所在地 大牟田市宮浦町132-8



👉 [地図ナビにリンクしています](#)